

特集展示 近世絵画1750—1850

2014年10月28日(火)—12月7日(日)

江戸時代も後期になると、国内外の様々な刺激を受けて、個性豊かな絵師たちが数多く登場しました。現代の我々をも魅了してやまない伊藤若冲、日本の南画の大成者として知られる池大雅、大坂で唐絵師として活躍した林閼苑など、上方の絵師を中心に近世絵画の優品をご紹介します。



林閼苑
山水人物図押絵貼屏風(部分)
江戸時代・安永9年(1780)
本館蔵

中国の彫刻

2014年12月9日(火)—27日(土)

2015年1月6日(火)—2月8日(日)

本館蔵山口コレクション石造中国彫刻を中心に、南北朝時代北魏から明時代にいたる、仏像、道教像を展示します。



如来三尊像 隋時代・開皇6年(586) 本館蔵(山口コレクション)

天来 —降り来たる神仏—

2015年1月10日(土)—2月8日(日)

人々の願いや祈りに応じ、時として神仏はこの世へと降り立ちます。往生者を迎えに来る来迎図の阿弥陀聖衆、釈迦のもとに向かう涅槃図の摩耶夫人。彼岸と此岸がつながる様々な瞬間、天からあらわれる神仏の姿をご覧ください。



重要文化財 涅槃図(部分) 南北朝時代・建武2年(1335) 大阪・長宝寺蔵

平成26年新指定重要文化財特集 —狩野派の山水・花鳥図屏風—

2015年1月10日(土)—2月8日(日)

田万コレクションの狩野宗秀筆「四季花鳥図屏風」と兵庫・太山寺の寄託作品「四季山水図屏風」が、新たに重要文化財に指定されました。両作品を含む室町～桃山時代の狩野派による山水・花鳥図屏風を特集展示します。



重要文化財 狩野宗秀 四季花鳥図屏風(左隻・部分)
桃山時代・16世紀 本館蔵(田万コレクション)

魁春の彩り —明清の絵画—

2015年1月10日(土)—2月8日(日)

いつの時代も画家は四季折々の美しい景に心惹かれ、その姿を画中にとどめてきました。今回は当館の所蔵・寄託の明清絵画から、春をいろどる優品の数々をご紹介します。



金廷標
春元瑞兆図
清時代・18世紀
本館蔵(阿部コレクション)